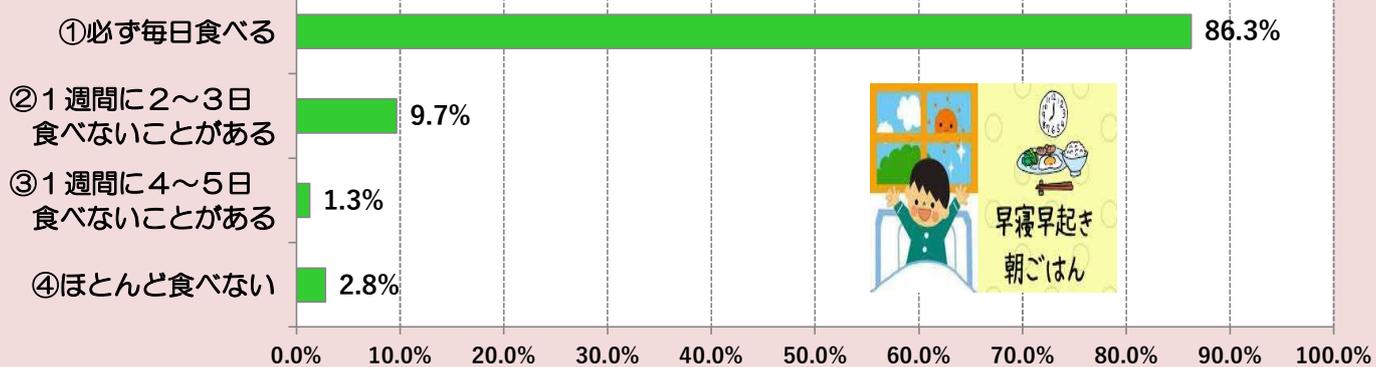
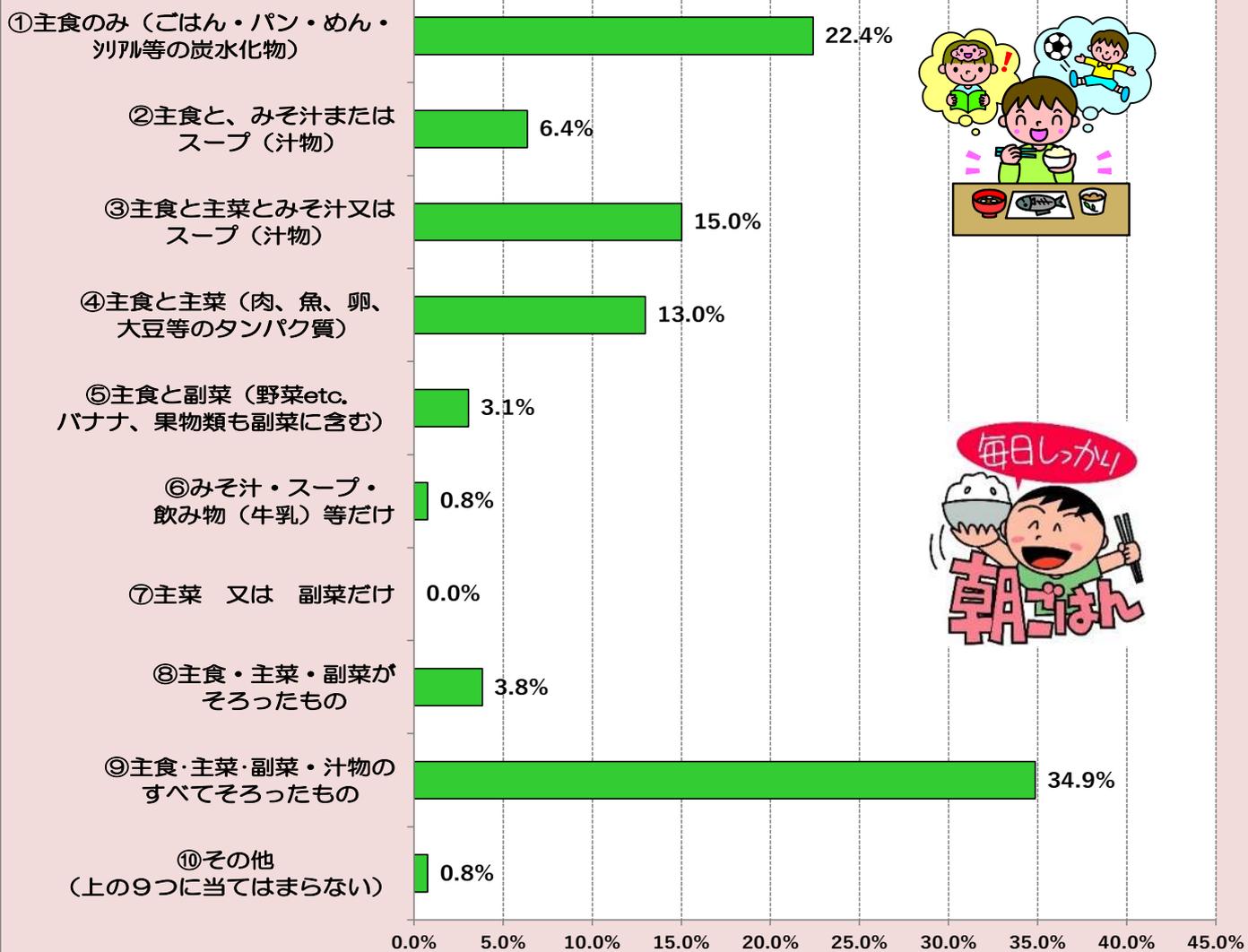


# 令和5年11月 食に関するアンケート結果

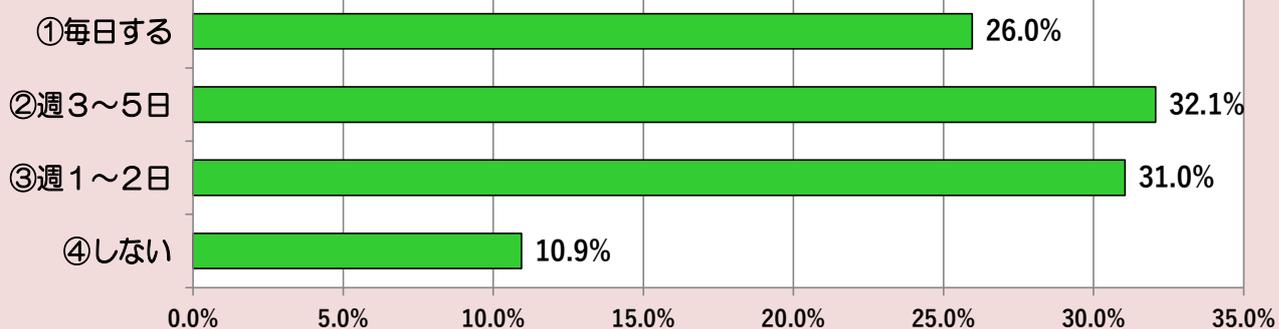
## 1. 朝ごはんを食べますか？



## 1-2. 朝ごはんの内容はだいたい次のどれですか？



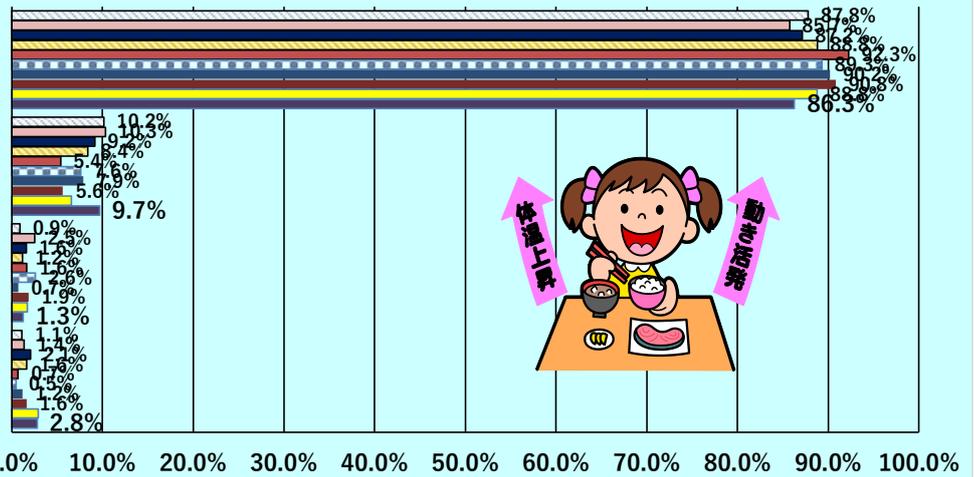
## 2. 運動について



### 1-1朝ごはんを食べますか？

□ R1.06 □ R1.11 ■ R2.06 □ R2.11 ■ R3.06 □ R3.11 ■ R4.06 ■ R4.11 □ R5.06 ■ R5.11

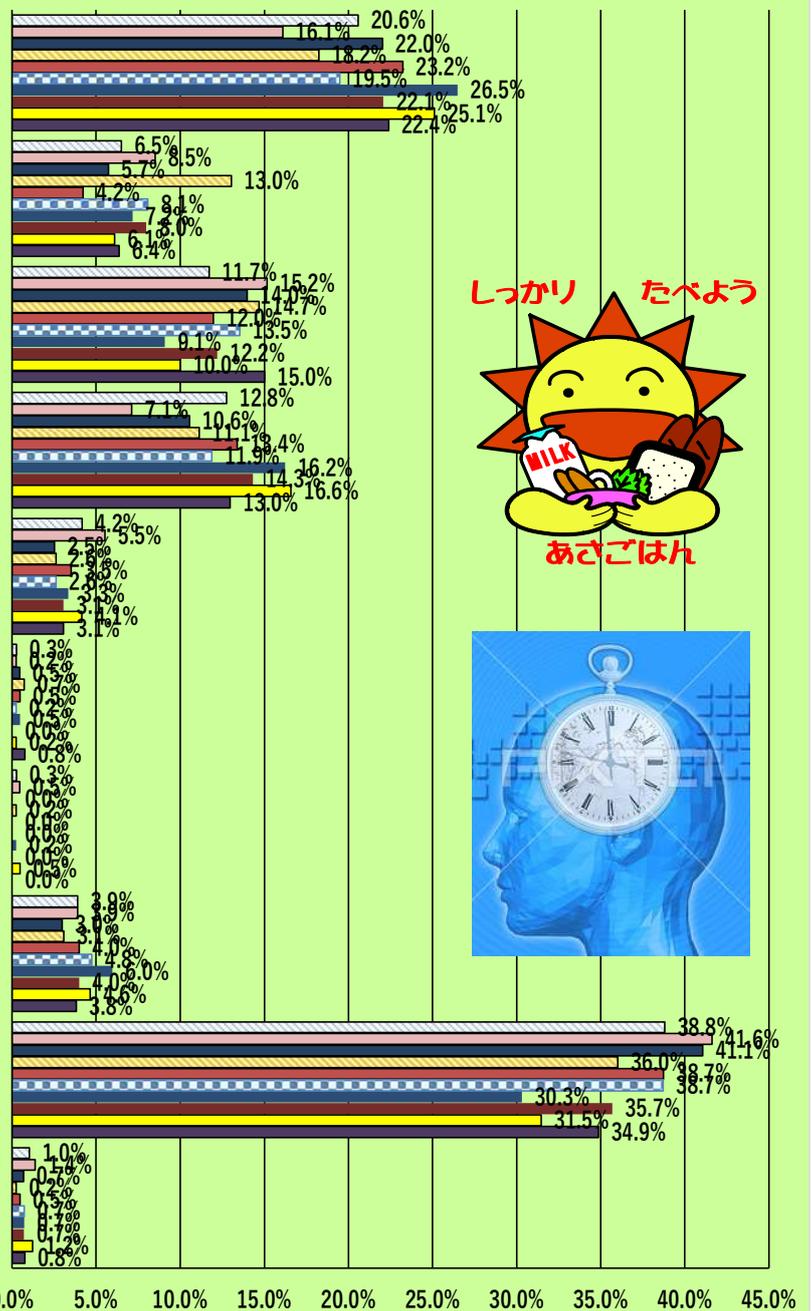
- ①必ず毎日食べる
- ②1週間に2～3日食べないことがある
- ③1週間に4～5日食べないことがある
- ④ほとんど食べない



### 1-2 朝ごはんの内容は？

□ R1.06 □ R1.11 ■ R2.06 □ R2.11 ■ R3.06 □ R3.11 ■ R4.06 ■ R4.11 □ R5.06 ■ R5.11

- ①主食のみ（ごはん・パン・めん・シリアル等の炭水化物）
- ②主食と、みそ汁またはスープ（汁物）
- ③主食と主菜とみそ汁又はスープ（汁物）
- ④主食と主菜（肉、魚、卵、大豆等のタンパク質）
- ⑤主食と副菜（野菜etc. バナナ、果物類も副菜に含む）
- ⑥みそ汁・スープ・飲み物（牛乳）等だけ
- ⑦主菜 又は 副菜だけ
- ⑧主食・主菜・副菜がそろったもの
- ⑨主食・主菜・副菜・汁物のすべてそろったもの
- ⑩その他（上の9つに当てはまらない）

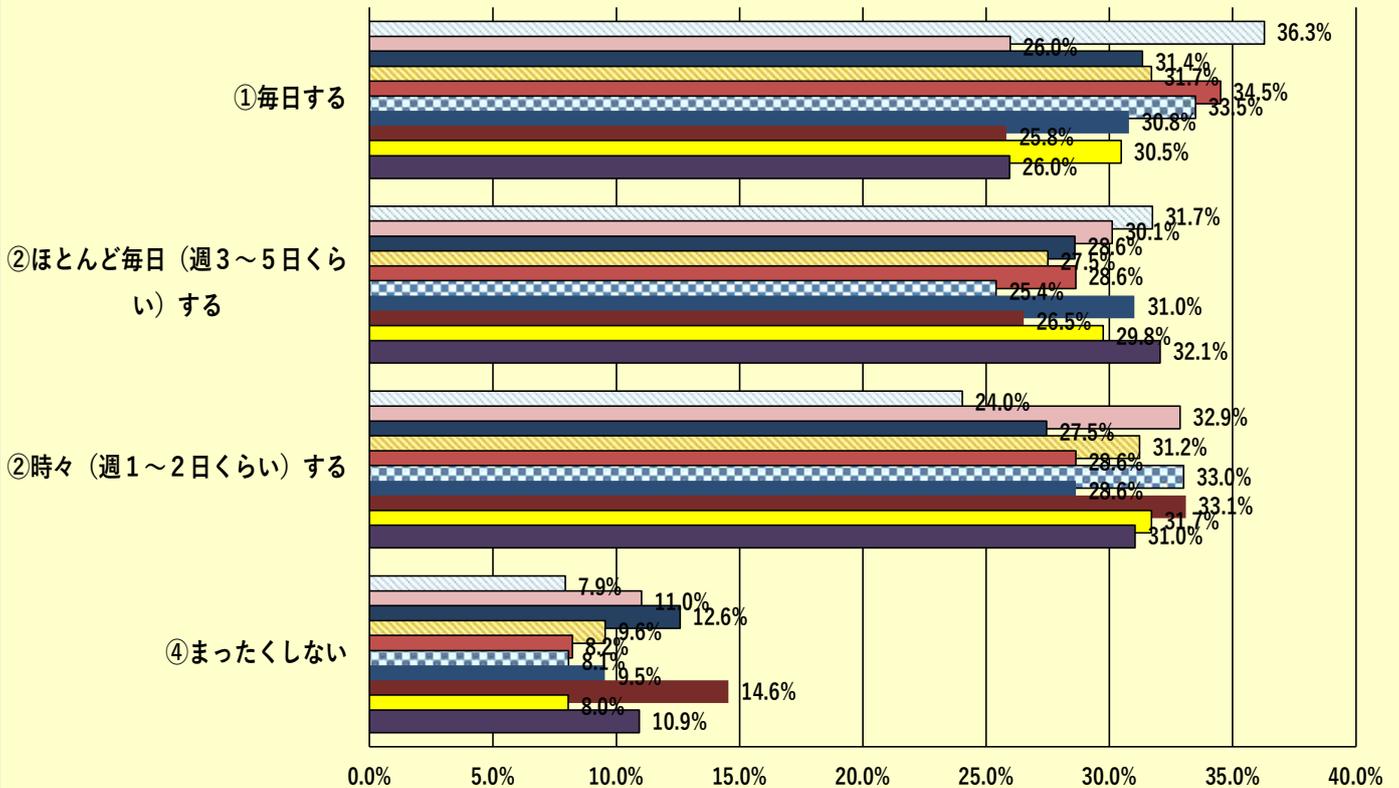


上記のグラフは、令和元年度から5年度の6月と11月の結果の比較です。

令和5年度は、「ほとんど食べない児童」が2%を超えてしまいました。これは、低学年の児童（特に1年生）が多いです。朝ごはんを食べて登校するよう、ご家庭のご協力をお願いします。

## 2 運動について

□ R1.06   □ R1.11   ■ R2.06   □ R2.11   ■ R3.06



令和5年11月の朝食欠食者は、下記の通りです。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
男児	3	1	1	1	0	2
女児	1	1	2	0	0	1
合計	4	2	3	1	0	3

理由

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
時間がない	2	1	1	0	0	0
食欲がない	0	1	1	0	0	2
用意がされてない	0	0	0	0	0	0
いつも食べない	2	2	1	1	0	1

※ 複数回答あり

朝食は、いつも食べないと食べないでいることが、習慣になりますので、食べる習慣を作ってほしいと思います。そして、時間がないという理由は、起きる時間との関係かと思えます。朝食を食べる時間がとれるように考えて、朝は起きてほしいです。

また、バランスのよい朝ごはんを食べていない状況も増えました。

# 子供の生活リズムは朝食から見直そう

子供たちが健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスのとれた食事、十分な休養・睡眠など、規則正しい生活習慣が必要です。

朝ごはんは、体を目覚めさせて、脳の働きを活発にします。朝起きて、光を浴びることで、まず、心を目覚めさせます。

さらに、朝ごはんを見ながら、手を動かし、食べ物のおいおい味を楽しみながら、よく歯でかむことで、頭の働きを活発にします。

そして、歯でかむことで、頭の働きを活発にします。

また、食べ物を飲み込んで胃や腸の働きを目覚めさせてくれます。

食べ物を飲み込んで胃に送るとお腹の中で、消化・吸収されて、いろいろな成分が体に送られて活動が活発になります。

したがって、体温が上昇して、さらに体の活力を高めてくれます。

頭の栄養源は、体の脂肪を使えるほかの臓器と違って「ブドウ糖」だけなので、「ブドウ糖」が減っている朝には「ブドウ糖」を補給しないと、脳全体の活動が落ちてしまいます。

「ブドウ糖」はその名の通りブドウをはじめとする甘い果物に含まれるほか、ごはんやパン・うどん・芋類などに、多く含まれる炭水化物が消化された成分です。脳は、眠っている間も活動しているので、夕ご飯から約12時間後の朝起きたころには、エネルギーがあまり残っていません。

その中で、朝ごはんをぬいたまま登校してしまうと、午前中の授業では、集中力や記憶力が低下してしまうこととなります。

午前中の学校での生活が、充実できるように、朝食を食べて登校してください。

集中力・記憶力のアップにも、朝食は欠かせません。ぜひお願いします。

